

学長／教授 吉瀬 献策（きちせ けんさく）

最 終 学 歴	早稲田大学国語国文学専攻科 修了
学 位・資 格 等	高等学校教諭二級普通免許状（国語）、高等学校専修免許状（国語）、中学校教諭一級普通免許状（国語）
所 属 学 会	なし

■研究業績(過去5年)

著書・学術論文等の名称	単 著 ・ 共著の別	発 行 又 は 発表の年月	発行所・発行雑誌等 又は発表学会等の名称	共 著 者 ・ 発 表 者 等
【著書】 特になし 【学術論文】 特になし 【その他】 令和3年度北海道高等学校長協会後期 研究協議会実践発表		2022年1月		

副学長／教授 中島 元子（なかしま もとこ）

最 終 学 歴	岩手大学工学部応用化学科 卒業
学 位・資 格 等	高等学校教諭1種免許状（理科）
所 属 学 会	なし

■研究業績(過去5年)

著書・学術論文等の名称	単 著 ・ 共著の別	発 行 又 は 発表の年月	発行所・発行雑誌等 又は発表学会等の名称	共 著 者 ・ 発 表 者 等
【著書】 特になし				
【学術論文】 特になし				
【その他】 特になし				

学科主任／教授 鈴木 美樹子（すずき みきこ）

最 終 学 歴	宇都宮短期大学音楽科 卒業
学 位 ・ 資 格 等	中学校教諭二級免許状(音楽)
所 属 学 会	全国大学音楽教育学会、日本赤ちゃん学会、日本保育学会、日本演奏連盟、日本ピアノ教育連盟、全日本ピアノ指導者協会(正会員)、一関バッハ研究会

■研究業績(過去5年)

著書・学術論文等の名称	単 著 ・ 共 著 の 別	発 行 又 は 発 表 の 年 月	発 行 所 ・ 発 行 雑 誌 等 又 は 発 表 学 会 等 の 名 称	共 著 者 ・ 発 表 者 等
【著書】 特になし 【学術論文】 特になし 【その他】 1. 演奏会 第36回一関バッハフェスティバル 「赤ちゃんコンサート」 IX	—	2023年2月	一関市・一関文化協会 一関バッハ研究会	鈴木美樹子 小岩光枝 鈴木庸子 熊谷秀子 丹野美子 戸田一恵 佐々木ゆみ 舞石美和 中村朋子 加藤裕美 柴田誠太郎
2. 演奏会 第34回一関バッハフェスティバル 「赤ちゃんコンサート」 VII・VIII	—	2021年2月	一関市・一関文化協会 一関バッハ研究会	鈴木美樹子 小岩光枝 鈴木庸子 熊谷秀子 丹野美子 戸田一恵 佐々木ゆみ 舞石美和 中村朋子 加藤裕美 柴田誠太郎
3. 演奏会 第32回一関バッハフェスティバル 「赤ちゃんコンサート」 VI	—	2019年2月	一関市・一関文化協会 一関バッハ研究会	鈴木美樹子 清水寿満子 小岩光枝 鈴木庸子 熊谷秀子 丹野美子 戸田一恵 佐々木ゆみ 舞石美和 中村朋子 加藤裕美 柴田誠太郎

教授 千葉 正（ちば ただし）

最 終 学 歴	城西大学経済学部経済学科 卒業 日本体育大学大学院体育科学研究科博士課程 研究生修了
学 位・資 格 等	経済学士、日本スポーツ協会公認バレーボール(コーチ4)
所 属 学 会	日本体育学会、日本発育発達学会、日本体力医学学会、バレーボール学会、トレーニング科学学会、日本スポーツ健康科学学会

■研究業績(過去5年)

著書・学術論文等の名称	単 著 ・ 共著の別	発 行 又 は 発表の年月	発 行 所 ・ 発 行 雑 誌 等 又は発表学会等の名称	共 著 者 ・ 発 表 者 等
【著書】 特になし				
【学術論文】				
1. 子ども家庭ソーシャルワーカーの課題と国家資格化へ向けたソーシャルワーク理論の必要性	共	2024年3月	修紅短期大学紀要 第44号	館山壮一 千葉正
2. 学生が考案したダンス指導の分析による領域「健康」の指導法への示唆	共	2023年3月	修紅短期大学紀要 第43号第2分冊 47-56	千葉正 館山壮一
3. 休園による家庭環境の変化と子どものストレスについての研究 ーコロナ自粛による休園は園児のストレスに影響を与えたかー	共	2021年3月	修紅短期大学紀要 第41号 31-36	千葉正 館山壮一
4. クラス・コミュニティとしての状態と施設実習に与える影響 ー保育系学生の施設実習指導に関する考察ー	共	2020年3月	修紅短期大学紀要 第40号 23-29	館山壮一 千葉正
5. 保育者を目指す短期大学生の幼少期の自然体験と「環境」領域の授業への示唆	共	2020年3月	修紅短期大学紀要 第40号 53-58	千葉正 千葉悟
【その他】 特になし				

教授 菊池 武剋（きくち たけかつ）

最 終 学 歴	東北大学大学院文学研究科心理学専攻博士課程 単位取得退学
学 位 ・ 資 格 等	文学修士
所 属 学 会	日本心理学会、日本教育心理学会、日本発達心理学会、日本キャリア教育学会、日本犯罪心理学会、東北心理学会

■研究業績(過去5年)

著書・学術論文等の名称	単 著 ・ 共 著 の 別	発 行 又 は 発 表 の 年 月	発 行 所 ・ 発 行 雑 誌 等 又 は 発 表 学 会 等 の 名 称	共 著 者 ・ 発 表 者 等
【著書】 1. 解説キャリア教育 2. 子どもとかわる人のための心理学 ―保育の心理学、子ども家庭支援の心理学、子どもの理解と援助への扉― 3. キャリア教育概説 4. 子どもとかわる人のための心理学 ―保育の心理学、子ども家庭支援の心理学への扉―	単 共 共 共	2023年4月 2020年10月 2020年9月 2019年5月	(株)実業之日本社 (株)萌文書林 第5章 第8節 249-252 (株)東洋館出版社 第I章 第1節 8-11 (株)萌文書林 第5章 第8節 229-232	沼山博 三浦主博 加藤道代 神谷哲司 菊池武剋 鈴木智子 高橋賢 津田千鶴 中村修 福島朋子 清水和秋 松井賢二 古川雅文 下村英雄 吉田辰雄、他 沼山博 三浦主博 大向幸男 加藤道代 神谷哲司 菊池武剋 鈴木智子 田上恭子 津田千鶴 中村修 中谷敬明 福島朋子 細越久美子
【学術論文】 1. 学校教育における教科外活動の構造について―生徒指導・教育相談・特別活動・キャリア教育・総合的な学習の時間を対象として― 2. 生涯発達における幼児期―「10の姿」を考える― 【その他】 特になし	共 単	2020年3月 2020年3月	山形県立米沢栄養大学紀要 第7号 15-25 修紅短期大学紀要 第40号 47-51	沼山博 福島朋子 菊池武剋

教授 小山 祐二（おやま ゆうじ）

最 終 学 歴	宇都宮大学教育学部小学校教員養成課程 国語専修 卒業
学 位 ・ 資 格 等	教育学士
所 属 学 会	なし

■研究業績(過去5年)

著書・学術論文等の名称	単 著 ・ 共著の別	発 行 又 は 発表の年月	発 行 所 ・ 発 行 雑 誌 等 又は発表学会等の名称	共 著 者 ・ 発 表 者 等
【著書】 特になし				
【学術論文】 1. 連携を学校経営の柱にした教職員の 人材育成について	単	2021年9月	令和3年度全国特別支援学級・通級 指導教室設置学校長協会第58回全 国研究協議会岩手大会研究紀要 40-41	
【その他】 校内研究会講師 1. 文学的な文章の基本的な読み方	—	2021年11月	一関市立山目小学校研究会	小山祐二
校内研究会講師 2. 高学年の文学的な文章の読み方につ いて	—	2020年11月	一関市立山目小学校研究会	小山祐二
地方研究会講師 3. 文学的な文章の読み方について	—	2019年6月	一関地方小学校国語研究会	小山祐二

講師 中尾 彩子（なかお あやこ）

最 終 学 歴	文京学院大学大学院人間学研究科心理学専攻心理学コース 修了
学 位 ・ 資 格 等	修士(心理学)
所 属 学 会	日本心理学会、日本発達心理学会、日本応用心理学会、日本保育学会、日本保育者養成教育学会、東北心理学会

■研究業績(過去5年)

著書・学術論文等の名称	単 著 ・ 共著の別	発 行 又 は 発表の年月	発 行 所 ・ 発 行 雑 誌 等 又は発表学会等の名称	共 著 者 ・ 発 表 者 等
【著書】 1. 応用心理学ハンドブック	共	2022年9月	福村出版(株) 第3章 Topic7 124-125	藤田主一 古屋健 角山剛 谷口泰富 深澤伸幸 小林剛史、他
【学術論文】 1. シールを用いた週案とその振り返りを保育実践につなげる検討	単	2023年3月	修紅短期大学紀要 第44号 1-8	
2. ウェアラブルカメラ映像を用いた保育実践の共有と相互理解の試み	単	2022年3月	修紅短期大学紀要 第42号 27-36	
3. 早期の職業選択が想定するライフコースのイベント記述数とキャリア発達に及ぼす影響	単	2021年3月	修紅短期大学紀要 第41号 37-42	
4. 遊びからみた子どもの社会性の発達	共	2020年3月	修紅短期大学紀要 第40号 31-36	牧野順四郎 中尾彩子
5. 養育者の幼児に対する被服援助と幼児の被服関心	共	2019年3月	修紅短期大学紀要 第39号 1-7	中尾彩子 牧野順四郎
【その他】 1. 子どもはどこを見ているのか。保育者の思いと子どもの興味	—	2019年8月	第10回幼児教育実践学会 (常葉大学、静岡)	小野寺郁子 中尾彩子

講師 館山 壮一（たてやま そういち）

最 終 学 歴	神戸大学大学院経済学研究科総合経済政策専攻博士後期課程 単位取得満期退学 岩手県立大学大学院社会福祉学研究科社会福祉学専攻博士後期課程 修了
学 位 ・ 資 格 等	博士(社会福祉学)、修士(経済学)
所 属 学 会	日本保育学会、東北経済学会、日本消費経済学会

■研究業績(過去5年)

著書・学術論文等の名称	単 著 ・ 共 著 の 別	発 行 又 は 発 表 の 年 月	発 行 所 ・ 発 行 雑 誌 等 又は発表学会等の名称	共 著 者 ・ 発 表 者 等
【著書】 特になし				
【学術論文】				
1. 保育園の経営戦略についての一考察：R・ルメルトの戦略論をもとに	単	2024年3月	修紅短期大学紀要 第44号 23-33	館山壮一 千葉正
2. 子ども家庭ソーシャルワーカーの課題と国家資格化へ向けたソーシャルワーク理論の必要性（研究ノート）	共	2024年3月	修紅短期大学紀要 第44号 9-21	
3. 小規模農村集落における農福連携事業の研究 ー持続可能な事業戦略の構築ー （博士論文）	単	2023年3月	岩手県立大学	
4. 農村型地域運営組織のあり方に関する考察 ー農村RMOと農福連携の活用を視野に入れてー	単	2023年3月	修紅短期大学紀要 第43号第2分冊 31-46	
5. 学生が考案したダンス指導の分析による領域「健康」の指導法への示唆	共	2023年3月	修紅短期大学紀要 第43号第2分冊 47-56	千葉正 館山壮一
6. 地域共生社会の実現に向けた新しい農福連携のあり方について	単	2022年9月	修紅短期大学紀要 第43号第1分冊 1-14	館山壮一 宮城好郎
7. 農福連携事業の法人化戦略について ー地域運営組織の社会福祉法人化の提案ー	単	2022年3月	修紅短期大学紀要 第42号 13-26	
8. 福祉的就労において農福連携が果たす意義と役割	共	2022年3月	修紅短期大学紀要 第42号 1-12	
9. 保育所を運営する社会福祉法人の持続可能性戦略に関する考察 ー損益分岐点分析を通してー	単	2022年3月	修紅短期大学紀要 第42号 37-44	
10. 農福連携研究の展望と行政支援の現状（査読付き）	単	2022年3月	東北経済学会誌第75巻1号	館山壮一 高橋正紀
11. 保育士を目指す学生の語想起能力と生育環境の関連 ー保育の環境構成を事例としてー	単	2021年3月	修紅短期大学紀要 第41号 15-20	
12. 言語的つながりから見る幼小連携についての考察 ー小学校学習指導要領と幼児教育3法令を対象にー	共	2021年3月	修紅短期大学紀要 第41号 21-29	

13. 休園による家庭環境の変化と子どものストレスについての研究 ーコロナ自粛による休園は園児のストレスに影響を与えたかー	共	2021年3月	修紅短期大学紀要 第41号 31-36	千葉正 館山壮一
14. 農村コミュニティの価値と評価手法に関する考察	共	2020年3月	修紅短期大学紀要 第40号 1-13	館山壮一 宮城好郎
15. こども園における幼小連携の認知度とスクールソーシャルワーカーの活用可能性 ー岩手県内のこども園を対象にー	単	2020年3月	修紅短期大学紀要 第40号 15-21	館山壮一 千葉正
16. クラス・コミュニティとしての状態と施設実習に与える影響 ー保育系学生の施設実習指導に関する考察ー	共	2020年3月	修紅短期大学紀要 第40号 23-29	
17. 小地域における意思決定と社会ネットワークの時系列的変化 ー花巻市高松地区における住民主体の福祉サービスを事例としてー(査読付き)	単	2020年3月	東北経済学会誌 2019年度 第73巻 No.1 11-23	
18. 農福連携における住民主体の福祉サービス ー岩手県花巻市の取り組みを通してー(査読付き)	単	2020年3月	消費経済研究 第9号 (通巻第41号) 149-158	
【その他】				
1. 口頭発表 「会計システム概念を応用した農村集落の価値評価手法の検討」	—	2020年7月	日本消費経済学会 北海道東北支部大会 (オンライン)	館山壮一 宮城好郎
2. 口頭発表 小地域における意思決定と社会ネットワークの時系列的変化 ー花巻市高松地区における住民主体の福祉サービスを事例としてー	—	2019年8月	東北経済学会 山形大学	館山壮一 宮城好郎

助教 皆川 理奈（みながわ りな）

最 終 学 歴	東京藝術大学大学院美術研究科絵画専攻修士課程 修了
学 位 ・ 資 格 等	修士(美術)
所 属 学 会	なし

■研究業績(過去5年)

著書・学術論文等の名称	単 著 ・ 共著の別	発 行 又 は 発表の年月	発行所・発行雑誌等 又は発表学会等の名称	共 著 者 ・ 発 表 者 等
【著書】 特になし				
【学術論文】				
1. 表現の場としての展示を考える ー造形活動のその先ー	単	2023年3月	修紅短期大学紀要 第43号第2分冊 51-63	
2. 幼児期における内発的な創造欲求に ついての視点と考察	単	2022年9月	修紅短期大学紀要 第43号第1分冊 15-21	
【その他】				
1. 皆川理奈演出合同作品展 「今日も明日も」	単	2023年1月	一関文化センター 小ホール	